

臨床検体由来 *Acinetobacter* spp. および *Pseudomonas* spp. における
Colistin 耐性遺伝子 *mcr* の検索

高橋 安実¹⁾²⁾、上地 幸平²⁾、許 駿¹⁾、山城 哲¹⁾

1) 琉球大学大学院 細菌学講座

2) 琉球大学病院 検査・輸血部

【はじめに】現在、世界的に多剤耐性グラム陰性桿菌による感染症が問題となっている。*Colistin* が治療の選択肢の一つとなっているが、2015年に中国で初めてプラスミド性の *Colistin* 耐性遺伝子 *mcr-1* が報告された。今回我々は、臨床由来 *Acinetobacter* spp. および *Pseudomonas* spp. からのコリスチン耐性遺伝子 *mcr* の検出を試みた。

【対象・方法】2014年～2020年に当院で臨床検体より分離・保管されていた *Pseudomonas* spp. 429株および *Acinetobacter* spp. 260株を対象とした。*Colistin* 耐性株の選択のために *Colistin* 含有分離培地 (2 µg/mL, in house) を用いた。培地上に発育した菌株は、薬剤感受性試験を実施し、同時に PCR で *mcr-1*～*9* の有無を調べた。

【結果】*Acinetobacter* spp. では 260株中 17株、*Pseudomonas* spp. では 429株中 254株が *Colistin* 含有分離培地上に発育を認めた。*Pseudomonas* spp. では PCR にて *mcr* が検出されなかったのに対し、*Acinetobacter* spp. 1株から *mcr-4* が検出された。*mcr-4* が検出された菌株の *Colistin* の MIC は 16 µg/mL であった。

【まとめ】2014年に分離・保管されていた臨床検体由来 *Acinetobacter* spp. から *Colistin* 耐性遺伝子 *mcr-4* が検出された。我々の調べた限り、我が国において *Acinetobacter* spp. から *mcr* が検出されたという報告はないため、今後さらなる解析が必要であると考えられる。